

報道関係者各位

アクロディアの「VIVID UI®」が、NTTドコモの LYNX 3D SH-03C(シャープ製)に搭載、裸眼立体視対応 Android 携帯端末では初搭載、3D 表示横メニューを提供

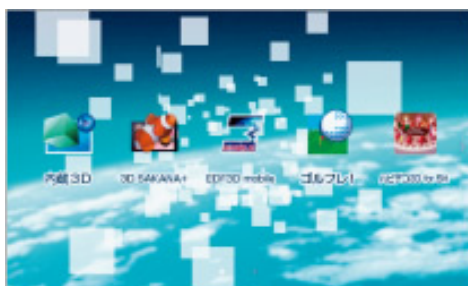
2010年12月9日

会社名 株式会社アクロディア
代表者名 代表取締役社長 堤 純也
(コード：3823 東証マザーズ)

株式会社アクロディア(本社：東京都目黒区、代表取締役社長：堤 純也、以下「アクロディア」)が開発した「VIVID UI®」が、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山田 隆持、以下「NTTドコモ」)の LYNX 3D SH-03C(シャープ製)に搭載、裸眼立体視に対応した 3D 表示メニューを開発、提供したことをお知らせいたします。

アクロディアの「VIVID UI」は、日本国内のフィーチャーフォンのほぼ8割に搭載されておりますが、この度、昨今急速に市場を拡大している Android OS 搭載のスマートフォン向けに初めて「VIVID UI」が搭載されました。

表現力豊かな自由度の高い UI を構築できる「VIVID UI」を使い、LYNX 3D SH-03C で採用されている視差バリア方式(*)の裸眼立体視ディスプレイでタッチパネルに対応した 3D 表示横メニューを提供いたします。この奥行き感のある 3D 表示のメニューから、プリインストールされた 3D コンテンツなどをダイレクトに起動できます。



3D ランチャーメニューは、待受画面の状態
で端末を横向きに表示されます

アクロディアは、今後も 3D やスマートフォン向けソリューションのバージョンアップ開発を行い、より多くのユーザーに便利に楽しく快適にスマートフォンを使っていただけるよう努めてまいります。

以上

*視差バリア方式とは：通常のディスプレイに「視差バリア」と呼ばれる縦縞のバリアを重ねることにより、右眼、左眼それぞれに、右眼左眼用の画像を見せ、立体感を表現します。これにより、専用のメガネをかけることなく裸眼で 3D を楽しめます。

- ※ Android は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- ※ 「LYNX」は、シャープ株式会社の商標または登録商標です。
- ※ 「VIVID UI」は、アクロディアの登録商標です。
- ※ その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

【株式会社アクロディア】

所在地: 東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒 GT タワー18F

設立: 2004 年 7 月

上場: 2006 年 10 月 東証マザーズ(3823)

代表者: 代表取締役社長 堤 純也

海外拠点: フィンランド、韓国、米国

ウェブサイト: <http://www.acrodea.co.jp/>

本リリースに関するお問合せ先 株式会社アクロディア 管理部 IR・PR グループ TEL: 03-5768-8606 EMAIL: products@acrodea.co.jp
